

日本中世英語英文学会 第33回全国大会

2017年12月2日(土)・3日(日)

立教大学 (池袋キャンパス)

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

(大会本部：7号館2階7251教室)

開催校連絡先：菊池清明研究室 03-3985-2470

第1日 12月2日(土) 13:40-18:10

会長講演 (7号館1階7102教室)

チョーサーの館再考

会長 地村彰之 (岡山理科大学)

研究発表 I (10号館1階 X102教室)

1. *Sir Gawain and the Green Knight* における語りの枠組みとその意味 濱田里美 (立教大学大学院)
2. Knighthood of Sir Gawain and the Lord Bertilak — *Sir Gawain and the Green Knight* における「自己」と「評価」— 玉川明日美 (立教大学大学院)
3. 中英語騎士物語における馬の役割に関する一考察 貝塚泰幸 (千葉商科大学他非常勤講師)
4. 王が二人いる国：マロリーの『アーサー王の死』における地名と字名 小宮真樹子 (近畿大学)

研究発表 II (10号館1階 X103教室)

5. 古英語から初期中英語における語順：動詞の意味・統語的特性から 高橋佑宜 (京都大学大学院・日本学術振興会特別研究員)
6. 古英語版『オロシウス』における主節の動詞文末語順の考察 小林茂之 (聖学院大学)
7. 古英語 *hātan* とその関連表現 海田皓介 (千葉大学非常勤講師)

研究発表 III (10号館1階 X105教室)

8. 古英詩 *Andreas* における街の風景 衛藤安治 (福島大学非常勤講師)
9. John Lydgate の聖母関連詩と aureate style の同時代受容をめぐって 新居達也 (慶應義塾大学大学院・日本学術振興会特別研究員)
10. ヨーク・サイクルにおけるイエスの裁判 — ピラトとヘロデによる「中世の」法廷 — 末松良道 (元武蔵野大学教授)

第2日 12月3日(日) 10:00-13:00

企画シンポジウム (7号館1階7102教室)

- The Art of Reading Slowly — 中世英語テキストを精読する
- I. 十字架はキリストを殺したのか — *The Dream of the Rood* 66a 再考 司会 寺澤盾 (東京大学)
 - II. 校訂本作成を支えるフィロロジ — 古英詩 *Menologium* と *Maxims I* の場合 寺澤盾 (東京大学)
 - III. 精読から引き出される中英語の言語的特徴 唐澤一友 (駒澤大学)
 - IV. *The Canterbury Tales: General Prologue*, line 521 と *Piers Plowman* B. V. 187 の解釈をめぐって 三浦あゆみ (大阪大学)
- 田島松二 (九州大学名誉教授)

研究発表 IV (10号館1階 X102教室)

11. 中世イングランドの百科事典と編纂者たち — アレクサンダー・ネッカムとバルトロマエウス・アングリクスを中心に 大沼由布 (同志社大学)
12. *Paris and Vienne: William Caxton's Romance or History?* Wanchen Tai (慶應義塾大学・一橋大学非常勤講師)
13. ウィリアム・キャクストンの印刷用手稿に見るテキスト改変 高木眞佐子 (杏林大学)

研究発表 V (10号館1階 X103教室)

14. 14世紀頭韻詩韻律研究の現況と展望 — 『ガウェイン』詩人の作品を中心に — 井上典子 (小樽商科大学)
15. サミュエルズ タイプ II の4つの文書 松沢絵里 (大阪芸術大学)
16. 中英語散文 *Gilte Legende* の言語的特徴 池上恵子 (成城大学短期大学部名誉教授・前大東文化大学教授)

*受付は12月2日(土) 11:30-16:00, 3日(日) 9:30-11:30に, 7号館1階7102教室前で行われます。

*ポスターセッションは12月2日(土) 12:00-13:00, 3日(日) 9:00-10:00に, 7号館1階7155～7157教室で行われます。

日本中世英語英文学会 (会長 地村 彰之)

事務局 〒739-8522 東広島市鏡山1-2-3

広島大学大学院文学研究科 大野英志研究室内

Tel. 082-424-6678 Email: jsmes2017@gmail.com

[大会準備委員] 三浦あゆみ (委員長) 狩野晃一 (副委員長) 堀口和久 和治元義博 福田一貴 工藤義信 林邦彦